

47. 天覧山・多峰主山

西武池袋線の飯能駅から 2 km もないところに天覧山の登り口がある。そこから登る天覧山 (195m)・多峰主山 (とうのすやま、271m) は街中にあるが、格好の低山ハイキングコースだ。独立峰だから猪や熊の心配も無用。二つの山頂を結ぶコースは変化に富み、両方の山頂の展望は素晴らしい。多峰主山の山頂の手前は急峻で鎖付だが、もう一つのルートもある。少しだけ苦勞して山頂に至ると 360 度の展望が待っている。東の展望は関東平野が一望でき、遠くにはスカイツリーも見える。北は日光連山、近くは日和田山や日高市方面が眺められる。北から西側にかけては武甲山の秩父方面がよく見える。西から南にかけては奥多摩の大岳や丹沢山系、そしてその間に富士山が眺められる。まさに値千金の展望だ。麓には大きな無料駐車場 (本来は市民会館用か) と中央公園があり、交通の便もよい。そこは昔はグランドだったが、今は桜の名所でもある。ハイキングコースは季節による花木雑木が楽しめ、ゆっくり歩いても登り口から往復 2 時間程度だ。

近くには名刹・能仁寺がある。良く整った庭園もあるが、ここは戊辰戦争時、上野の彰義隊から分かれた振武軍が官軍と戦った飯能戦争の中心地でもある。境内に飯能戦争の大きな碑がある。渋沢平九郎の敗走と非業の死は有名だ。天覧山の登り途中には幕末の志士・小川香魚の碑がある (案内板がなくわかりづらい)。兩人とも 22 歳で自刃している^(注)。その他、天覧山には十六羅漢、多峰主山には領主黒田直邦の墓や経塚などがあり歴史好きには余計楽しめる。

天覧山・多峰主に初めて行ったのは飯能高校の学生のときだ。学校から天覧山登り口は 500m 足らず。ある日、数学の授業が始まるときに Y 君が先生に提案した。「先生、授業を止めてみんなで天覧山に行きたい！」と。天気がいいからとか、何か理由を言ったのかは覚えていないが、実現した。いい思い出だ。

高校生のとき行ったのは 2 回か。それから 40 年以上行った覚えがないが、定年になってからよく行くようになった。それも段々と増えるようになった。そして昨年はついに毎月 1 回行く目標を立てた。コロナの影響で駐車場が使えない時期もあって毎月とはならなかったが、計 14 回程行った。今年は 1 月 7 日に行ったあと、2 月は天覧山より近い柏木山に行ったため、2 回目は少し間があいて 3 月 27 日になってしまった。春霞なのか天気は良いものの、展望は今一つで富士山は見えなかった。が、気分は上々だった。――奥多摩の大岳みるや春霞――

行った回数を正確に数えていなかったのは残念だが、定年後から一昨年まで少なく見積もって年平均 2 回とすれば、 $2 \times 14 + 14 = 42$ 回。今年から年 12 回として 5 年間で 60 回。80 歳を過ぎる頃までには 100 回位行けそうだ。車なら半日の行動だが、問題は車で行けなくなった場合だ。そのときは、八高線で東飯能まで行き、高校のときの通学路を歩きながらのんびりと行きたい。帰りは街中を歩き、地酒の天覧山を飲みながら蕎麦でも食べたい。年寄りのほぼ一日の行動になりそうだが、ささやかな望みだ。

(注) 渋沢平九郎は渋沢栄一の見立養子。戦いに敗れ吾野の顔振峠に逃走したが、越生の黒山で敵の官軍に遭遇して自刃した (慶応 4 年 5 月)。小川香魚は飯能の出身の幕末の攘夷志士。薩摩藩邸焼討事件で逃走中、川越藩兵に囲まれ自刃した (慶応 3 年 12 月)。大正元年従五位を贈られる。碑文は「飯能市史」にあり。父・小川松園の碑 (文は権田直助) もすぐ近くにある。

(2021 年 3 月 29 日)



多峰主山から大岳・富士山を望む (2020年4月19日)



多峰主山山頂 (2021年3月27日)



小川香魚の碑 (2016年6月4日)